



梓川花火大会

10月27日(日) 松本 青い鳥の音楽ライブ、豪華景品が当たるビンゴ大会など、子どもたちも運営に協力して会場は大いに盛り上がりを見せていました。

18時から岡澤克則実行委員長の開会宣言とカウントダウンで、約500発の花火が打ち上げられ、多くのギャラリィから拍手と歓声が上がっていました。

日中には青年部の飲食物の販売、消防団ラッパ隊の演奏、豊科高校ダンス部のステージ、

青年部の笠井啓司会長は「松本水輪花火大会の休止をきっかけに、青年部で何かできないかを話し合い、花火大会の復活を決めた。寄付や運営に協力してくださった皆様の善意で花火大会を行うことができました」と話していました。来年も梓川で花火大会が開催されることを願いたいと思います。



梓川の世帯数・人口

世帯数	4,829戸
人口	12,054人
男	6,002人
女	6,052人

(令和6年.11.1現在)



▶ラッパ隊の演奏



▶青年部の出店

新任分団長あいさつ



第37分団 鱈川 潤分団長

松本市消防団第37分団の分団長に就任いたしました鱈川 潤です。

第37分団は上立田、下立田、上角、下角、杏、こまち、角影台の7町会を担当しています。

最近、地震や風水害など自然災害が多発しており、松本地域においても、いつ起きてもおかしくありません。実際に直面した時には自主防災が重要になります。消防団も、いつ出動になってもいいように訓練を行い、装備を整えています。地域の人命、財産を守るために、また自分たちの地域は自分たちで守るために消防団員の確保が欠かせません。

最近の消防団員数は減少傾向にあります。消防団活動をしたという方がいらしたら、松本市消防防災課(☎333-1191)までご連絡ください。

これからも皆様のご支援ご協力をお願いします。

梓川ウォークラリー2024

10月13日(日) 梓川ウォークラリー(松本市スポーツ推進委員協議会梓川地区担当主催)が開催され、7組24人が参加しました。

梓川公民館発着の2コースが設定され、参加者は目印や記号などが書かれた『コマ図』を頼りに、途中で出題される問題やゲームを楽しみながら約5キロのコースを競技で歩きました。

祖母と参加した溝口綺乃(あやの)さんは「コマ図が読めるようになって歩くのが楽しい」と話してくれました。



▶コマ図を頼りに進む



▶下角のクイズゾーン



▶全員でゴール!

「コスモス会」大盛況!

9月14日(土) 上野町内公民館では、地域の高齢者の方々の感謝の気持ちを込めて「コスモス会」を盛大に開催しました。

当日は演芸ホランテシア「チコちゃんとお友達」によるたぐみな腹話術、思わず笑顔がこぼれる手遊びゲーム、軽快な南京玉すだれなどが披露され会場は終始笑いに包まれました。

続いて、地元の小中学生による心を込めた合唱は、夏休み前から重ねてきた練習の成果が発揮され、会場全体を温かい雰囲気包み込みました。

その後は、祝宴を催し、参加者の方々は世代を超えて交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

また、上野町会にお住いの70歳以上の高齢者105人に紅白まんじゅうを贈り、敬老の日を祝いました。

今年の「コスモス会」は、コロナ禍を経て5年ぶりの開催ということもあり、参加者からは「楽しかった、また来年も開催してほしい」といった声が数多く聞かれました。

上野町内公民館では、これからもこのようなイベントを

通じて、より一層住みよい地域づくりを目指していきます。



▲たぐみな腹話術

東保育園運動会

10月2日(水) 梓川東保育園で運動会が開催されました。未満児を含む全園児がそろって開催するのは5年ぶりで、観覧する保護者の人数制限もなく大変にぎやかな様子でした。

未満児の可愛らしいよちよち歩きの踊りに始まり、異年齢競技の兄弟すずめでは、異なる学年の微笑ましい交流が見られました。後半には年中児のバルーンや年長児のソーラン節など完成度の高い競技で盛り上がりを見せました。クライマックスの年長児リレーでは沢山の声援の中、オ



▲心を込めた小学生の合唱

リンピックさながらの白熱した闘いが行われました。最後には保護者とのダンスもあり会場が一体化した雰囲気開幕を迎えました。



▲青空の下の運動会